

永年にわたる功績を讃える

平成19年度功労者表彰式

町の政治・経済・文化・社会などの各般にわたり町政振興への寄与、または多くの人々の模範と認められる行為があつた方々を表彰する、平成19年度功労者表彰式が11月3日、みなくるで行われました。

自治功労

今年度顕彰された方々は次のとおりです。

自治の振興発展に尽くされた方

新田 信一さん（幾寅）

表彰式は、出席者全員で町民憲章を朗読したあと、功労者の皆さんに池部町長から表彰状が授与され、受賞者を代表して新田信一さんから謝辞が述べられました。

会議役員として平成3年から平成19年まで4期16年間の永きにわたり在職し、この間議長をはじめ常任委員長の要職にあり、町民の福祉向上に尽くされ、地方自治の振興発展に貢献されました。

高橋 逸郎さん（東鹿越）

昭和50年より32年間の永きにわたり、町消防団員として在職し、この間副団長・分団長の要職を努められ、団員の指導・育成と住民の尊い生命・財産を守るため、消防人としての重要な使命感に徹し消防団活動



に貢献されました。

産業経済功労

産業経済の振興発展に尽くされた方

曾慶 一介さん（幾寅）

㈱ソケイズの代表取締役として社員の指導育成と健全経営に努力するかたわら、商工会役員として商工会長の要職を歴任されるなど、産業経済の振興発展に貢献されました。

平成19年度 ほっかいどう森づくりコンクール

伊藤和夫さん（幾寅西町）「カラマツの部」で優秀賞を受賞



平成19年度ほっかいどう森づくりコンクールがこのほど行われ、伊藤和夫さん（幾寅西町）の所有するカラマツ林が、カラマツの部で優秀賞を受賞し、11月8日、役場において、上川南部森づくりセンター 細田博司所長から伊藤さんに表彰状が伝達されました。

このコンクールは、人工林を適正に管理・育成し地域の模範となる森林を顕彰し、森林の保育管理の重要性を広め林業技術の向上を図り、民有林造林事業の推進と森づくりに対する意欲を高めることを目的として、北海道（社）北海道森と緑の会（社）北海道造林協会の共催で平成18年度から開催されています。

伊藤さんが今回応募したカラマツ林は、枝打ちがしっかりと行われ、自ら本数調整を行うなど、保育管理がいきとどいており、理想的な山林として高い評価を受けており、これまで長い年月をかけて大事に育ててこられた伊藤さんの山林に対する思いが結実してこの回の受賞となりました。

受賞に際して伊藤さんは、「山を育てるのが難しい中で、昔から少しずつ手入れをしてきたけれど、自分でやる気があつたから出来たことで、家族のおかげでもありません。昔はいけると言われたけれど、今は立派な山になっていたのでうれしい。」と話してくれました。

